

未来の但馬をつくるワークショップにおける意見

第2回 養父市 11月07日(土) 開催

A班	
セッション1 (但馬地域の望ましい将来像)	セッション2 (望ましい将来像実現のために)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幸せ度の高い地域 ・ 居住、観光で選ばれる地域に ・ オンライン医療の推進 ・ 各市町に拠点病院 ・ 健康寿命が延びる ・ 子や孫に迷惑をかけない ・ 高齢者が生き生きと集える場づくり ・ 買い物、通院、通学が便利な地域に ・ 地域で子育てを支える ・ 子ども達の居場所づくり ・ 子どもの進学先の選択肢が増える ・ 若い世代も積極的に地域に関わる ・ 但馬らしい場所が残っている ・ 何をやるにも障害のない地域 ・ オンラインを活用し、様々な業種の人が但馬で暮らせるように ・ 中山間地＝農地ではなく、IT立国に ・ 観光客が更にたくさん来る ・ 文化、音楽、芸術を盛んに ・ 但馬の市町間に一体感がある ・ 各市町の特徴と個性を活かした取り組みの活発化 ・ コンパクトシティをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住む但馬を好きになる ・ 祭り、伝統文化を引き継いでいける仕組みの構築 ・ 子ども食堂等、集まれる場づくり ・ 若者、女性を受け入れる環境づくり ・ 空き家整備等、移住できる環境づくり ・ 地域の魅力と外部の人材を繋げる ・ 但馬全域の日本遺産を活用 ・ 地域住民が地域の魅力に触れる機会をつくる ・ 自分の住む地域について知る ・ 多地域居住の勧誘 ・ いろんな活動ができる地域に ・ アーティストの移住促進 ・ 各市町の情報を共有し、いいところ取り ・ リカレント教育、生涯学習 ・ 但馬のものを買う、食べる、使う ・ 夢を語る、笑いを絶やさない ・ 但馬空港の国際線化 ・ 買い物難民を近所で送迎し合う仕組み ・ オンライン社会に向け講習会開催 ・ 人にしかできない仕事を増やす ・ 5市町を1市に ・ 地域の人がボランティアで学校に関わることができる仕組み ・ 農業、林業を気軽に体験できる仕組み

B班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かし守る ・山と水で財を増す ・自然災害に対応した地域 ・イベントが盛りだくさん ・豊かな自然、生物、植物を引き継ぐ ・カニが簡単に食べられる ・多様を受け入れ、楽しむ ・子どもが外で自由に活動できる ・若者が移住しやすい ・人口が増える、但馬ナンバーができる ・但馬地域でひとつの繋がり ・変化を恐れない ・高齢者も貢献、安心、交流 ・但馬版ノーベル賞、発明大賞 ・老後の貢献、楽しみが多い ・空き家の減少 ・交通機関の充実、移動しやすく ・高齢者が自立して生活できる社会 ・デイサービスと保育園を合併 	<ul style="list-style-type: none"> ・旬菜の有効活用 ・農作物に対する消費者の意識改革 ・プロ指導の下、自然の活用や保全の方法を模索する ・コンパクトシティ化 ・広域基金を活用したモデル事業の創設 ・大田舎都市計画 ・挑戦、変えてみる ・画一的でない教育 ・若者が楽しめるイベントホール ・若者が求める働き方のできる企業 ・安定した収入の職を増やす ・兵庫県庁の本庁を10年単位で移動 ・官民を問わず、情報を共有化 ・ポジティブな「終活」 ・終活をポジティブに行えるセミナー ・高齢者のふれあいの場をつくる
C班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・若者も高齢者も楽しくコミュニケーションが取れる場がある ・若者も高齢者も持続的に暮らしていけるしくみがある ・高齢者が安心して暮らせる地域づくり ・高齢者も普通に働ける環境 ・若者と常に会話ができる環境 ・子どもや孫と一緒に音楽を楽しみたい ・音楽と共に人が集うまち ・商店街に地元の人が集う ・観光地に外国人があふれるまち ・便利な交通の実現 ・城崎だけでなく、但馬全域で観光ルート整備 ・事業を興しやすいしくみの構築 ・10代、20代が元気なまち ・アプリ、ICT活用して必要なときに自動運転のバスが来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践する人は高齢者！ →若い人を巻き込み、繋いでいく（場づくり、雇用、観光資源等） ・観光地、商業施設に音楽小屋を作り、老若男女が気軽に集える場づくり ・寄りやすいカフェ、イベントしやすいカフェ、固定客の少ないカフェ ・若者が起業できる環境を高齢者が作る ・「高齢者が働く場」を設ける ・UIターン者を支援するしくみづくり ・但馬の特産品についての教育を小学生から行う ・安定して供給できる観光資源の確保 ・農地、耕作放棄地を買い上げ、まとまった面積の農地を確保 ・空き家空き地の有効活用、取り壊し ・県内各市の連携 ・大開通の幅を広げる

D班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を再認識、地域資源の活用 ・誇りが持てる但馬～一次産業と心の豊かさ～農林漁業を活用し、人と人の繋がりを大切に ・お金に頼らず暮らせる地域に ・わらしべ長者で幸せに ・皆が地域の良いこと悪いことを知る ・子育て環境、介護、医療の充実 ・少子高齢化の解消 ・多様性を認める ・働く場の確保 ・交通網の充実 ・心の豊かさを育てる、交流のある地域 ・但馬に生まれてよかったと思える空気 ・補助金に頼らず自立できる ・豊かな人財を活用 ・但馬外の人からいいねと言われる 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史を身近に興味を持つ環境をつくる ・他者と語り学べる場所をつくる ・恵まれた環境を知り、感謝する(人・物・自然) ・移住者を増やす ・最先端のテクノロジーを活用 ・後継者不足、高齢化の解消 ・歴史について深く学べる、研究できる場をつくる
E班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・雨が降ったら、留守宅の洗濯物を気にしてくれる(入れてくれる)ような但馬 ・自然と共に生きる智慧の宝庫で生活名人が集う地域 ・高齢者となった自分が若手の邪魔にならないように生きられる ・今回のようなワークショップにもっと気軽に学生が参加できる ・今ある但馬の良さを伸ばした地域 ・生活しやすい場所 ・気軽に出かけられる但馬 ・リアルな経験とリモートの両方を活用 ・人口が減る中で、少人数で成り立つ行政サービスや商売を考えていく ・若い世代が活躍、挑戦できる但馬 ・若い人が活躍、挑戦できる ・若い人がより積極的に活動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合探求の時間のように参加のきっかけづくり ・大人の力を借りてでも、若い人には挑戦して欲しい。後始末は大人がする ・出て行く前に、ちゃんと知る ・但馬の生活インフラの底上げ ・教育、医療、インターネットを最先端に ・生徒が教え役になる教育へ変える ・但馬の人は但馬外に出て生活する機会を持つべき ・一度都会に出た人がUターンしやすい環境にする ・外国籍の人が生活しやすく、行き来しやすい工夫をする ・友達を作れる場所をつくる ・農業にもっとビジネスが介入 ・子育てや勉強にお金をかける ・子どもが出たいと言えば気持ちよく送り出し、継続的に但馬の現場を伝える

F 班	
セッション1	セッション2
<ul style="list-style-type: none"> ・健康志向地域 ・地域の人が地域の良さを知っている ・多様性を受け入れられるまち ・家族で住みたくなるまち ・安心して子育てできる環境の確保 ・オンライン環境を充実化 ・「国際都市但馬」の実現 ・自然豊かな環境は都会にはない利点なので大切にしていく ・「環境、生態系を守る但馬」 ＝「人にも優しい但馬」 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食をオーガニックにする →地域の農家さんから食材を仕入れる ・国内だけでなく海外との交流に力を入れる ・子ども達に但馬がいいところだと知ってもらう ・地域内外問わず、魅力をPR ・情報発信力は改善の余地あり ・山、海があり、食べ物もおいしいという魅力を発信 ・外国の方からすれば但馬は近くに何でもある(3時間なんてすぐその距離) ・「健康」を大切に ・程よい距離感の繋がりを大切に